# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　5　年　4　月　21　日　　事業所名　　放課後等デイサービス　くるみの森　西谷

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 1 | 3 | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 2 | 2 | | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | | 2 | 2 | 階段がある為、登る際は子供の後ろにスタッフ配置している。(落下防止) | 階段に滑り止めを設置するなどの環境づくりをしていきます。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 3 | | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 3 | | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 3 | | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 2 | 2 | | | 都度の面談は行われており、その際に出た意見や思いなどをみんなで考え、業務改善出来る様にしています。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 4 | | | 定期的な研修を行っています。 | 継続して、研修を行っていきます。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 4 | | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 4 | | | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 4 | | | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 3 | 1 | | 利用者に天候に合わせ、また新しい活動の提案をしながら、少しづつ実行しています | 活動の幅を広げるため、レクレーション本なども今後参考にしていきます。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 3 | | | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している | 4 | | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 3 | 1 | | 事前に内容、役割の確認を行っていきます。 | 緊急性がある場合など、事前に聞いていなかった事案等については<br>支援中であっても「報連相」をしていますので、継続して行っていきます。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有している | 4 | | | 気付いたことや情報など、スタッフ間で共有するよう心掛けています。 | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 4 | | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 4 | | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている | 4 | | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 4 | | | | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 4 | | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 2 | 2 | | 医療的ケアが必要な利用者は在籍していません。 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 3 | 1 | | | こちらからも、もっと積極的に情報共有出来る様、連絡体制などを見直していきます。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 3 | 1 | | | 次の事業所さんが決まっていなかったりする場合も多く、情報提供が不足していることも多いので、決まり次第、情報提供できるよう連絡を取れる体制を整えていきます。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 1 | 3 | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | | 4 | コロナ禍の為、現在自粛しています。<br>今後の状況をみて検討していきます。 | |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | 3 | 1 | | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 4 | | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている | 1 | 1 | 2 | | 通常の研修に加えて、掘り下げた研修をしていきます。<br>また、例題を用いた研修をしていきます。 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 3 | | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 2 | 2 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 1 | 1 | 2 | コロナ禍の為、現在は自粛しています。今後の状況を見て開催検討を行います。 | 屋外なども視野に入れ、検討していきます。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 4 | | | スタッフ間で情報共有しています。 | 苦情など、ご意見があればすぐにスタッフ間で情報共有し、話し合いを設け対応しています。今後も継続していきます。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 4 | | | 活動の様子など、ｓｎｓや会報で配信しています。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 4 | | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 4 | | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 1 | 3 | コロナ禍の為、自粛中です。今後の状況を見て検討していきます。 | 屋外や季節なども考慮して検討していきます。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 2 | 2 | | | 保護者には、定期的な会報にてお知らせなどはしていますが、<br>分かりづらい点もある為、わかりやすく図解を用い等の工夫をしていきます。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 4 | | | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 4 | | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 3 | | 1 | | 身体拘束が必要な状況など、具体的な研修を追加していきます。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 4 | | | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 2 | 2 | | | 共有に関しては行えていますが、事例集を保管している場所が分かりづらい為、<br>いつでも誰でもが見返せる様に、保管場所や背表紙などを工夫していきます。 |